

エルシーブイ FM 第 77 回放送番組審議会

1. 日時 2019 年 11 月 26 日（火）13 時 30 分から 14 時 30 分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社

3. 出席者 委員定数 6 名

出席委員 4 名

宮坂 徹 委員長

佐久 秀幸 副委員長

小野沢 弘夫 委員

前田 孝之 委員

欠席委員 1 名

丸茂 大介 委員

宮坂 ちとせ 委員

放送事業者側 4 名

大野 揚史 専務取締役

佐久 章展 放送制作部部長

小池 利幸 放送制作部 FM 制作課長

中島 裕子 放送制作部 FM 制作課

4. 議事次第

- ・番組審議会 宮坂徹委員長より開会の挨拶
- ・「台風 19 号に伴う対応・マラソンラジオ」について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

台風 19 号では、気象庁から注警戒するよう会見を開くなど強烈な台風であることが知らされていたため、諏訪地域においてもそれらに対応した準備があった。エルシーブイ FM では、できうる対応で情報発信を実施した。

諏訪湖マラソンは、今回、会場周辺の交通緩和などを目的に、駐車場から選手をシャトルバスで運ぶ方法を実施した。エルシーブイ FM では、これまでも選手の方々に対しての駐車場情報を音声とスマホアプリで伝えているが、シャトルバス情報も加えて選手の方々スムーズに会場入りできるよう心掛けた。

「台風 19 号に伴う対応・マラソンラジオ」に関する、主な意見としては

台風 19 号に伴う対応について

- ・情報がどうやってきて、原稿になっているのか気になった
- ・災害が発生するとラジオの大切さがわかる
- ・流域全体の様子が分かったので、この後どうなっていくか想像できて良かった
- ・当日はアプリの情報をチェックしていた
- ・ラジオで台風の見える化を図るのは難しいがイメージできるようになると良い
- ・例えば風速〇メートルがどのくらいの勢力かなど、具体的な例えがあるとわかりやすい
- ・アナウンサーが冷静に、住民の目線で話をしていて良かった
- ・細かく情報を伝えていた
- ・リスナーが 1 番知りたいのは自分の周りの状況
- ・避難所までの道のりがどのような状況なのか知りたかった
状況によっては避難そのものが危険のため
- ・自治体との連携を強めて、情報の一元化をしてほしい
- ・情報過多になり過ぎると迷いにつながるので、自治体や他のメディアと情報を一元化することはできないのか
- ・「命をまもる行動を」とは具体的に何をすればよいのか
下流域が危ないとか高い所へ避難しよう等分かりやすい表現を
- ・住民の「自分だけは大丈夫」という過信を改めなければいけない
- ・過去の災害からの学びを情報として出していくのはどうか

マラソンラジオ

- ・当日は会場でラジオを聞いていて、待ち時間でランナーの様子など分かって良かった

- ・ランナーのためになるので、アプリの存在を周知してほしい
- ・大会は諏訪湖の活性化につながるイベントなど

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。